

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
カラスアゲハ	アゲハチョウ科	黒をベースとした 緑～青の輝き	x	△	○	全国



川崎市 4月23日 (2018年) ♂吸水中



川崎市 4月29日 (2020年) ♂ (池上空。オタマジャクシは食べない)



川崎市 5月1日 (2019年) ♀ツツジで吸蜜



長野県諏訪郡 9月2日 (2019年) ♀フシグロセンノウに飛来

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草		○食樹		発生回数/年				越冬形態			
コクサギ、カラスザンショウほか				3				蛹 (さなぎ)			

カラス以上に美しく、微妙な模様と配色のカラスアゲハは生田緑地まで足を伸ばせば見られるアゲハです。オスは湿地で吸水していることが多い一方で、メスは吸水には殆ど訪れず花に飛来して吸蜜しますが一つの花には束の間しか留まりません。

カラスアゲハのオスは青みが強いのに対し沖縄八重山諸島に生息するヤエヤマカラスアゲハ (カラスアゲハの八重山亜種) は全体に緑が濃く美しいことで知られています。

4月～5月に毎年、山或いは、溪流にカラスアゲハと、その美しさで人気のあるミヤマカラスアゲハを撮りに行きます。これらのアゲハチョウは「蝶道」という一定のコースを同じように飛ぶこと、またオスの吸水が時折、集団化することがあるなどの習性を知っているとこれらの蝶に会える機会が増えます。

新緑の山々に取り囲まれた溪流沿いのすがすがしい空気の中で蝶たちと過ごす時間はまた格別です。



ミヤマカラスアゲハ♂ 西多摩郡 5月23日 (2017年) 吸水中



ヤエヤマカラスアゲハ♂ 2月16日（2000年） 石垣島 サンダンカの花に飛来 緑が濃く印象的



川崎市 4月29日（2020年） ♂池上を飛ぶ